平成２７年９月

From the People of Japan

アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ「エプサ」
EPSA for Africa（Enhanced Private Sector Assistance for Africa）

〇２００５年７月のＧ８グレンイーグルズ・サミット（英国）において，日本政府は，アフリカ開発銀行グループとともに，アフリカの民間セクター開発に関する共同イニシアティブ「EPSA for Africa」を発表。日本から，５年間で 10 億ドルの円借款供与を表明。2012 年 6 月，Ｇ２０ロスカボス・サミット（メキシコ）において，新たに 5 年間で 10 億ドルの円借款供与を表明。2014 年 1 月，エチオピアにおける安倍総理によるアフリカ政策スピーチにおいて，これを 20 億ドルにすることを表明。
〇これまで，民間セクターに対する円滑な資金供給や電力・道路をはじめとするインフラ整備等へ円借款を供与し，2005 年の公約を達成。

ＥＰＳＡの下で、*5 年間（2012 年 – 2016 年）で 20 億ドルの円借款を供与*する。

EPSA for Africa の概要

目的：アフリカの民間セクター開発を包括的に支援

主要 5 分野：投資環境整備，金融セクター強化，経済・社会インフラ整備，中小零細企業支援，貿易・直投投資促進

融　資

民間セクター育成・投資基盤整備等支援のための融資の拡充

・アフリカ開発銀行グループと国際協力機構（ＪＩＣＡ）との協調融資促進スキーム等を実施。アフリカ開発銀行の知見を活かして資金供給の迅速化・効率化を図り，民間セクター開発を支援。
・融資方法には，①政府及び政府機関等に対するアフリカ開発銀行/基金との協調融資（ソブリン向けの融資），②アフリカ開発銀行の民間セクター向けノンソブリン業務に対する円借款（ノンソブリン向けの融資），の２つがある。

技術支援
無償援助

信託基金（FAPA: Fund for African Private-Sector Assistance）

・アフリカ開発銀行グループに設置された、中小零細企業育成、金融機関の能力向上、公共部門のガバナンス強化のための技術支援等を実施する基金。